

学校配置検討委員会が 開催されました

6月29日(水)、第3回目の学校配置検討委員会が開催されました。前回に引き続き、町内の学校の現状を視察した後(豊松小、豊松中、油木中)、学校施設の状況や配置の在り方について議論しました。老朽化する施設環境、児童生徒数の推移(表1)や平成23年度クラブの設置状況(表2)などから学校の教育環境をどう考えるか突っ込んだ意見が交わされました。8月末の答申に向け、さらに深く広く検討していくこととなります。

(表1) 生徒数の推移

年度	中学校生徒数		年度	中学校生徒数	
	男	女		男	女
23	223		30	172	
	113	110		93	79
24	211		31	174	
	106	105		92	82
25	227		32	170	
	135	92		92	78
26	214		33	165	
	120	94		82	83
27	219		34	167	
	124	95		90	77
28	190		35	157	
	98	92		77	80
29	183		36	148	
	99	84		77	71

(表2) クラブの設置状況

三和中学校		神石中学校		油木中学校		豊松中学校	
クラブ名	部員数	クラブ名	部員数	クラブ名	部員数	クラブ名	部員数
野球部	22	野球部	17	野球部	5	野球部	10
バレー部	15	バレー部	8	サッカー部	8	バレー部	6
ソフトテニス部	11	ソフトテニス部	8	ソフトテニス部	10	ソフトテニス部	7
卓球部	15	文化総合部	4	卓球部	16	卓球部	7
剣道部	7			美術部	6		
陸上部	23						
吹奏楽部	18						

帝釈峡広域観光プロジェクト 推進実行委員会が設立されました!

6月27日(月)、庄原市役所東城支所で、「帝釈峡広域観光プロジェクト推進実行委員会」設立総会が開催されました。これは帝釈峡を中心とした地域の観光資源を活用し、国内や国外からの観光客の誘致を促進する目的で設立されました。

この実行委員会は、庄原市や神石高原町をはじめ、観光団体関係者や自治組織等で構成され、モニターツアーの企画等もあわせて行い、計画策定のため3月までに6回程度の実行委員会を開催の予定です。



設立の経過を説明される上山副町長



神石高原町も 仙台市へ職員を派遣!

この度の東日本大震災の復旧支援のため、本町も世羅町と合同で、仙台市へ約1カ月間職員を派遣しました。

現地では罹災証明に関する事務を行いました。被災地の日も早い復興をお祈りいたします。



高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費 助成事業が始まります。

町では、肺炎球菌に起因する肺炎の発病及び重症化を予防し、高齢者の健康の保持増進を図ることを目的に、平成23年7月1日から高齢者肺炎球菌予防接種費助成事業を開始します。

日本人の死因の第4位は肺炎で、死亡者の多くは高齢者です。肺炎の主な原因菌は「肺炎球菌」で、予防には『肺炎球菌ワクチン』の接種が有効とされています。本ワクチンの接種は任意であり接種義務はありませんが、ワクチンの効果や副反応等を十分に理解して主治医とご相談の上で希望される方は接種してください。

対象者 予防接種時に町に住民登録または外国人登録をしている満65歳以上の方で過去5年以内に肺炎球菌予防接種の接種歴のない方。

助成回数 生涯に1回のみ

	町内での接種を希望	町外での接種を希望
接種費用	無 料	9,000円を上限に助成 ※医療機関によって価格が異なりますが、超過部分は自己負担になります。
申請方法	保健課、福祉課または各支所町民課町民係にて申請。(印鑑必要) 接種の準備が出来次第、予診票・接種日・接種時間等の案内を通知します。	接種を受けた日から1カ月以内に保健課、福祉課または各支所町民課町民係にて償還払の申請。(印鑑必要) 後日9,000円を上限に指定の口座へ接種費用を振込みます。
注意事項	申込者が多数の場合、接種が大幅に遅れることがありますので、あらかじめご了承ください。	振込先金融機関、医療機関が発行した領収書、その他肺炎球菌予防接種に要した費用の確認できる書類が必要になります。

詳しくは、保健課にお問合わせください。

お問い合わせ先 保健課 ☎ 89-3366

地域を変える新しい力 地域おこし 協力隊活動だより

地域おこし協力隊の活動を紹介していく連載コーナーです。

谷口 哲一 のりかず 地域おこし協力隊



▲刈払機の使い方を実習中

草刈り作業が欠かさないことを知り、各地で行われていく地域づくり活動が、地域を維持していくためには、

神石高原町の地域おこし協力隊として、6月1日に着任し早くも一カ月が経ちました。これまでの活動は先ず町を一日も早く知ることに。集落支援員の皆さんに案内していただき町内を現地巡回すると、集落戸数が少なく、お隣の家まで車で移動しなければならぬ地域も多くあることに気付きました。また、都会では道路等、草刈り作業はあまり必要ありませんが、地域を維持していくためには、

7月からは、隊員の配置モデル候補地域に伺って地域行事や自治振興会の役員会等にも参加する予定です。
まだまだ、未熟なことも多く勉強も必要ですが、皆様にご指導いただきながら、町づくりに協力していけるように頑張りますので宜しくお願い致します。

動にも参加させて頂いています。6月26日(日)には小野自治振興会で取り組まれている「小野尋常農業小学校」の授業に参加し、農作業体験をさせて頂きました。都市部から参加している子ども達も、畑で生き生きと農作業を手伝う姿が特に印象に残りました。



配置モデル候補地域「源流の里しんさか」役員会の参加風景